

令和2年度 香芝市バリアフリー教室の開催

1. 開催概要、学習内容

(1) 開催日時及び開催場所

	日 時	場 所
令和2年度 香芝市 バリアフリー教室	令和2年10月14日(水) 9:30~11:45	香芝市立 三和小学校

(2) 参加者

香芝市立 三和小学校 小学4年生 76名

(3) 学習内容

① 3班に分かれ、以下の3つのコースを順番に体験

学習内容	
車いす体験	利用体験
	介助体験
視覚障がい 疑似体験	アイマスク、白杖を使用した疑似体験
	介助体験
ノンステップバス 体験	ノンステップバスの乗降体験・見学
	バリアフリー設備の説明・見学

② 児童全員での講義形式の学習

学習内容	
講義	心のバリアフリーについて
盲導犬ユーザー デモンストレーション	職員が盲導犬を先導し案内する様子を見学
	体験談

(4) 主催
香芝市

(5) 協力
国土交通省 近畿運輸局
奈良交通株式会社
社会福祉法人 香芝市社会福祉協議会
香芝市身体障害者福祉協会
視覚障がい者の仲間 光友会

(6) 新型コロナウイルス感染症感染予防対策
マスクの着用
検温の実施
手指・器材の消毒
換気の徹底
体験人数の少人数化

2. 令和2年度 香芝市バリアフリー教室の当日の様子

(1) 講義の様子





(2) 車いす体験の様子





(3) 視覚障がい疑似体験の様子





(4) ノンステップバス体験の様子





(5) 盲導犬ユーザーによるデモンストレーションの様子



3. バリアフリー教室アンケート集計結果

令和2年度 香芝市バリアフリー教室終了後、参加者である三和小学校 小学4年生 76名を対象に、アンケートを実施しました。

バリアフリー教室で車いす体験や視覚障がい疑似体験、ノンステップバス体験を体験学習し、また、盲導犬ユーザーによる歩行デモンストレーションなどの講義学習をすることで障がい理解につながり、相手の立場に立ち、まわりを思いやる心が育まれました。困っている人を見かけたら、「お手伝いしましょうか？」と声をかけたいとの回答が多くありました。

- (1) 日時：令和2年10月14日(水)9時30分～11時45分
- (2) 場所：香芝市立 三和小学校 体育館・運動場
- (3) 対象者：小学4年生 76名（2クラス）
- (4) アンケート回答数：75

問1 今日の授業でお話した内容は分かりやすかったですか？

わかりやすかった	ふつう	むずかしかった	無回答・無効回答
60名 (80.0%)	15名 (20.0%)	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)

問2 今日の授業を受けて、すぐに「やってみよう！」と思ったものはありますか？(複数回答可)

障がいのある人の気持ちになって考えたい。	37名 (24.3%)
困っている人を見かけた時には「お手伝いしましょうか？」と声をかけたい。	58名 (38.2%)
今日学んだお手伝いの方法などを家族やお友達に伝えたい。	52名 (34.2%)
その他(自由記述)	5名 (3.3%)

■その他(自由記入)

- ・ SOS、白杖を上に上げていたらたすけたい。
- ・ もし白じょうを上に上げたら「SOS」。「SOS」を出している人の手伝いをする。
- ・ もっと車いすをおしてあげたい。

問3 今日の授業でお話した「心のバリアフリー」を広げるためには、どのようなことが必要だと思いますか？(自由記述)

※ 一部内容を抜粋。内容に応じて下記のとおり分類し集計(下記①～④の複数に該当する内容は複数項目への加算とする。)

① 「お手伝いしましょうか？」と声をかける【48名(47.5%)】

- ・ 優しく声をかけたり、困っている人を助けてあげる。SOSがでてたらすぐにかかけつけて、お手伝いをする。
- ・ いろんな人にどうやってやるかを、おしえてしょうがいがある人を見たら「手伝いしましょうか？」と伝えたりする。
- ・ こまっている人を助ける。自分からお手伝いしましょうかと声をかける。バリアフリーをみんなに伝える。
- ・ 家族や友達に伝える。町でこまっているしょうがいの人がいたら、ゆう気を出して、「何か困ってませんか。」と聞く。
- ・ こまっている人がいたらこえをかけたり、おとなの人に言ったりする。
- ・ こまっている人がいたら、今日ならったように「お手伝い(お手伝)しましょうか」ときく。
- ・ 自分からお手伝いしましょうかと言ってみんなにみてもらってみんなにあ、こんなことしたらいいなとわかってもらえる。

② バリアフリー教室や心のバリアフリーについて、伝える【26名(25.7%)】

- ・ 家族などにも伝えて、それを、知り合いの人に伝えてほしい。障がいのある人を助ける！
- ・ 友達や家族に今日のことを話して話した友達が障がいのある人にあったら話したことをおもいだしてバリアフリーを広げていきたいです。
- ・ みんなが不自由なかたに「お手伝いしましょうか。」という言葉覚えてたら不自由な方もらくなる。
- ・ 私たちも、たいけんして、アイマスクをしてやったらとても、むずかしかってこわくて、大変なんだなあと考えたので、そのことを伝えないといけないなあと思いました。
- ・ いろいろな人に話したらいいと思います！
- ・ ほかの学年の子に教えてあげる。家族に教える。障がいの人を助けてみんなに「こんなやり方なんだ」と思ってその人にもお手伝いをしてもらう。
- ・ 人を大切にしたい。「お手伝いしましょうか？」とこえをかける。これを広げる。
- ・ けいけんを生かして家族などいろいろな人につたえること。白杖「SOS」がみえたらすぐたすけにしようと思った。

③ 助け合い、思いやりの心を持つ【21名(20.8%)】

- ・ 体の不自由な人たちの立場になって気持ちを考える。
- ・ 障がいのことをたくさんの方がいしきたら「自分たちだけよければいいんだ」などの思いは少なくなると思います。
- ・ みんなが障害の有る人への思いやりを持ち、助け合う事が必要だと思う。

- ・相手の気持ちを考えること(よみとる)思いやること。
- ・たくさんの方が幸せに生きていけるようにこまっている人がいれば助けてあげる。みんな協力してたすけてあげることが必要だと思いました。
- ・困っている人がいたら、手伝ってあげる。差別をしない。
- ・みんなのりかひが必要。
- ・

④ その他具体的対策【6名(5.9%)】

- ・しょうがいがある人をゆうせんする。点字ブロックにものを置かない。ホームなどではしやがない。
- ・お手伝いをしたりこまっていることはないかきく。もうどうけんが入れるお店をひやす。
- ・しょうがいがある人のためにお手つだひしたりすこしでも生活しやすひように工夫をしでいくことがたいせつだと思ひう。

問4 今まで車いすを使っている人のお手伝いをしたことがありますか？

ある	ない	無回答・無効回答
18名 (24.0%)	56名 (74.7%)	1名 (1.3%)

問5 今日の授業を受けて、車いすを使っている人のお手伝ひの方法はわかりましたか？

よくわかつた	わかつた	わからなかつた	無回答・無効回答
56名 (74.7%)	19名 (25.3%)	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)

問6 今まで目の不自由な人のお手伝ひをしたことがありますか？

ある	ない	無回答・無効回答
6名 (8.0%)	69名 (92.0%)	0名 (0.0%)

※ 「ある」は、「道を教えたことがある」を含む。

問7 今日の授業を受けて、目の不自由な人のお手伝いの方法はわかりましたか？

よくわかった	わかった	わからなかった	無回答・無効回答
56名 (74.7%)	18名 (24.0%)	0名 (0.0%)	1名 (1.3%)

感想

※ 設問としては設けていないが、空欄部に記載があった内容を一部抜粋。

- 今日のじゅぎょうで体験してとてもいいことが学べたと思います。アイマスクをしたとき、暗くてこわくて、しかく障がいの方は、いつもこんな感じなんだと思いました。車いすも、私が、なにげない時も車いすならこんなに大変なんだと思いました。今日はありがとうございました。
- アイマスクをしたらとても暗くて「ぶつかったらどうしよう」という思いが強かったので目の不自由な方はこんな思いをしてきたんだな。すごいな。と思いました。
- 今のたいけんで車いすの方のてつだいかたやきもちがわかりました。ありがとうございました。
- はじめて車いすにのってのってる人の気持ちがわかりました。アイマスクをつけていたのこわかったです。でもバリアフリー教室は、楽しかったです。これからもこまっている人を見つけたらたすけようと思いました。